

平成 22 年度 決算 に 係 る  
定 期 監 査 調 書

平成 23 年 4 月

倉吉家畜保健衛生所

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6 頁
11	不納欠損額調べ	6 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	6 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	8 頁
14	財産に関する調べ	8 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	10 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	11 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	11 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	11 頁
20	備品の処分状況調べ	11 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	11 頁
22	事業別予算執行状況	12 頁
23	家畜保健衛生事業	12 頁
24	家畜病性鑑定事業	15 頁
25	意見、要望等	16 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
/	衛生指導担当	家畜保健衛生指導に関すること 獣医事に関すること 動物薬事に関すること 畜産振興に関すること
	防疫担当	家畜伝染病の防疫に関すること
	病性鑑定室	家畜の病性鑑定の特殊検査に関すること 牛海綿状脳症（BSE）に関すること

4 職員の定員、現員調べ

（平成23年4月1日現在）

区 分	種 別		事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	23.4.1 現 在	当 該 年 度	23.4.1 現 在	当 該 年 度	23.4.1 現 在	当 該 年 度	23.4.1 現 在			
定 員	0	0	14	14	0	0	14	14			
現 員	(0) 0	(0) 0	(0) 15	(0) 15	(0) 0	(0) 0	(0) 15	(0) 15			
過不足(△)	0	0	1	1	0	0	1	1			
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0			
非常勤職員	1	1	2	2	3	3	6	6		事 務:1名 現業技術員:1名 (死亡牛一時保管施設) 獣 医 師:2名 畜産技手:2名	

5 役付職員の調べ

（平成23年4月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
所 長	山里比呂志	年 〇 月	
病性鑑定室長	上田 英己	〇	
次 長	井上 禎文	〇	出納員

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>家畜伝染病予防事業</p> <p>決算見込額 17,432千円 (財源内訳)</p> <p>国庫支出金 7,985千円</p> <p>一般財源 7,686千円</p> <p>その他 1,761千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査とまん延防止措置を行う。 また、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、県内における24カ月齢以上の死亡牛に対するBSE検査を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況(平成22年12月31日現在)</p> <p>○家畜伝染病の摘発 法定伝染病(家畜伝染病予防法第2条): 1件 届出伝染病(家畜伝染病予防法第4条): 5件</p> <p>○家畜伝染病予防法第5条に基づく告示検査</p> <p>〈牛〉 ・ブルセラ病 : 682頭 ・結核病 : 1,844頭 ・ヨ一ネ病 : 2,272頭</p> <p>〈馬〉 ・伝染性貧血 : 5頭</p> <p>〈鶏〉 ・ニューカッスル病 : 4,430羽 ・ひな白痢 : 3,510羽 ・マイコプラズマ病 : 3,510羽 ・高病原性鳥インフルエンザ : 240羽</p> <p>〈蜜蜂〉 ・ふそ病 : 45群</p> <p>○死亡牛BSE検査 ・検査頭数 : 382頭</p> <p>○家畜伝染病の侵入防止対策 ・口蹄疫 : 防疫対策会議4回、防疫演習2回 ・高病原性鳥インフルエンザ : 防疫対策会議2回、防疫演習1回</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの国内発生にともない、中部総合事務所(県民局、農林局)、市町、JA等との連携を強化し、迅速な情報共有体制をつくとともに、防疫対策会議や防疫演習を開催して、発生予防に万全を期した。</p> <p>ウ 成果 ・各種検査を行い、法定伝染病1件(ヨ一ネ病)、届出伝染病5件(牛サルモネラ症1件、牛伝染性鼻気管炎1件、牛白血病3件)を摘発するとともに、発生農場に畜舎消毒、薬剤投与等を指示することで、まん延を防止した。 ・死亡牛のBSE検査を実施し、すべての陰性を確認することで、安全で安心できる畜産物生産体制構築の一助とした。 ・中部総合事務所(県民局、農林局)とともに口蹄疫及び高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した初動防疫マニュアルを作成し、発生時における総合事務所、家畜保健衛生所、市町、JA等の役割を明確にするとともに、マニュアルに基づく図上演習を実施し、防疫対策をより確実なものとした。</p> <p>エ 課題 ・法定伝染病1件、届出伝染病5件の摘発があり、各種検査による監視の継続、伝染病の早期摘発、まん延の防止を徹底、強化する必要がある。 ・口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生時に、関係各所が防疫マニュアルに基づいた的確な対応を行うことができるよう、防疫演習などによる十分な準備が必要である。 ・畜産農家が飼育する家畜以外で、口蹄疫では羊や山羊、高病原性鳥インフルエンザでは愛玩鶏やアヒルなどが防疫措置の対象となるため、市町と連携して、飼育者に対する指導を徹底する必要がある。</p>

事業名	概要	要
<p>家畜衛生対策事業</p> <p>決算見込額 6,491千円 (財源内訳) 国庫支出金 2,744千円 一般財源 3,727千円 その他 20千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜衛生関連情報の収集と提供により、家畜衛生水準を維持、充実させるとともに、家畜の生産性を阻害する慢性疾病や混合感染症を排除し、生産性の改善と経営の安定を図る。また、動物用医薬品の使用、管理、流通の適正化を推進し、安全で安心できる畜産物の生産を指導する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○診断予防技術向上対策 全国規模で新しい診断技術を実証するための検査を実施した。 牛1戸(18頭 ヨーネ病)</li> <li>○動物用医薬品危機管理対策 動物用医薬品の適正管理、流通及び使用について指導を行うとともに、動物用医薬品の品質検査を行い監視した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 生産農家での薬剤耐性菌検査 牛2戸(2検体)、豚2戸(2検体)、鶏2戸(2検体)</li> <li>2) 動物用医薬品品質検査 1品目(1業者 3月実施予定)</li> <li>3) 動物用医薬品販売業者への立入検査 17店舗(実施: 4店舗、3月実施予定: 13店舗)</li> </ul> </li> <li>○地域衛生管理体制整備 地域内の伝染性疾病の検査を行い、発生予防及びまん延防止に役立つ仕組みづくりを検討した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 地域衛生管理対策 畜産経営に影響の大きい乳房炎、豚丹毒の監視検査を実施した。 乳牛142検体、豚408頭</li> <li>2) とつとりの肉用牛哺育育成対策 和牛の繁殖成績、子牛の育成成績に影響を及ぼす疾病(サルモネラ症、クリプトスポリジウム症)について検査を実施した。 母牛104頭、子牛523頭</li> </ul> </li> <li>○流通飼料対策 飼料安全法に基づき、飼料中に肉骨粉が含まれないことの確認検査を実施した。 1品目(1業者)</li> </ul> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域衛生管理対策、とつとりの肉用牛哺育育成対策では、検査結果を有効に活用できない農家がみられたことから、診療獣医師にも検査結果や治療方針、予防対策等を説明し、的確な対応を確実に行うことで、衛生対策をより効果的なものにした。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜衛生対策事業として病気の早期発見と迅速な対応、予防対策の徹底などに取り組み、慢性疾病や混合感染症を排除することで、農家には経済効果が得られたものとする。</li> <li>・特に、豚丹毒の発生は昨年の22件から5件に激減し、畜産物の生産段階における危害因子の低減につながった。</li> <li>・動物用医薬品の適正管理、使用の指導は、安全で安心できる畜産物の生産体制構築の一助となっている。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診断予防技術向上対策では、早期診断技術確立のために、引き続き、全国規模でのデータを蓄積し、検査精度の検証を行うことが必要である。</li> <li>・動物用医薬品危機管理対策、流通飼料対策では、畜産物の安全性を確保するため、今後とも監視体制を維持、充実させることが必要である。</li> <li>・地域衛生管理体制整備では、関係者が一体となって、経済的損失につながる病気の効果的な対処方法を広く普及、検証していく必要がある。</li> </ul>	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成22年12月31日現在)

収入科目			件数	単価(円)	証紙はり付額(円)	備考
目	節	細節				
農林水産業 手数料	畜産業手数料	動物用医薬品販売業許可等手数料	3	11,000円	33,000	鳥取県手数料徴収条例第2条(53) 薬事法第24条第2項許可更新
			2	2,000円	4,000	鳥取県手数料徴収条例第2条(65) 薬事法施行令第45条第1項許可証書の書換交付
	計(節)		5		37,000	
	目計		5		37,000	
合計			5		37,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成22年12月31日現在)(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	職員駐車場	9	135,630	135,630	0	0		
		計(節)		9	135,630	135,630	0	0	
	目計		9	135,630	135,630	0	0		
合計			9	135,630	135,630	0	0		

## (3) 手数料

(平成22年12月31日現在) (単位: 円)

収入科目			件数	調停金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考	
目	節	細節								
農林水産業 手数料	畜産業手数料	家畜防疫手数料 〈内訳〉	72	2,245,950	2,245,950	0	0	鳥取県手数料 徴収条例		
		ヨーネ病(ELISA)	(2,149頭)	1,353,870					@630	
		結核病	(1,766頭)	423,840					@240	
		ブルセラ病	(682頭)	163,680					@240	
		家禽サルモネラ感染症	(3,510羽)	150,930					@43	
		マイコプラズマ病	(3,510羽)	150,930					@43	
		ふそ病	(45群)	2,700					@60	
		家畜保健衛生所手数料 〈内訳〉	10	63,060	63,060	0	0		鳥取県家畜保 健衛生所の名 称・位置及び 管轄区域等を 定める条例	
		検査証明	(7件)	2,940						@420
		ブルセラ病	(1頭)	920						@920
結核病	(1頭)	700				@700				
ヨーネ病(PCR)	(2頭)	10,560				@5,280				
ヨーネ病(培養)	(2頭)	10,560				@5,280				
ヨーネ病(ELISA)	(3頭)	7,170				@2,390				
カンピロバクター	(1頭)	3,430				@3,430				
トリコモナス	(1頭)	1,340				@1,340				
牛白血病	(7頭)	16,730				@2,390				
サルモネラ症	(1頭)	3,430				@3,430				
BVD・MD	(1頭)	5,280				@5,280				
	計(節)	109	2,309,010	2,309,010	0	0				
	目計	109	2,309,010	2,309,010	0	0				
	合計	109	2,309,010	2,309,010	0	0				

(4) 財産収入

該当なし

(5) 諸収入

該当なし

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成22年12月31日現在)(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備 考
畜産業手数料	2,126,220	家畜防疫手数料
	53,370	家畜保健衛生所手数料
合 計	2,179,590	

イ つり銭の状況

該当なし

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料移出状況調べ

(1) 負担金

(平成22年12月31日現在)(単位:円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支 出 先	負担率	支出年月日	支 出 金 額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備 考
家畜保健衛生費								
支出額が10万円未満のもの						10,000		倉吉地区安全運転運行管理者協議会
目 計						10,000		
合 計						10,000		

(2) 補 助 金

該当なし

(3) 交 付 金

該当なし

## (4) 委託料

(平成22年12月31日現在)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日  (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
					(契約年月日) 契約額	契約 期間		契約形態				
家畜保健衛生費	国補	産業廃棄物 (汚泥)の収集 運搬及び処理 業務委託	三光(株)	65 80,000 (単価契約)	65 80,000 (単価契約)	22.4.22 ~ 23.3.31	22.4.16  (免除)	22.6.4外	精算	22.6.18外	1,421,804	特別管理産業廃棄物(感染性汚泥)の一括処分可能な業者は県内では1社のみであるため③
							随	22.6.11外				
家畜保健衛生費	単県	平成22年度ヒートポンプエアコン保守点検業務委託	(株)ヤマト 米子支店	400,000	(22.5.7) 346,920	22.5.7 ~ 22.7.31	22.5.6  (免除)	22.6.7	精算	22.6.29	346,920	特殊構造のため特約店に限定される。県内特約店は1社のみであるため
							随	22.6.23				
家畜保健衛生費	単県	エライザ <sup>®</sup> 装置保守点検業務委託	鳥取科学器械 (株)	756,000	(22.9.17) 588,000	22.9.17 ~ 22.11.30	22.9.13  (免除)	22.11.26	精算	22.12.3	588,000	新規
							随	22.11.26				
家畜保健衛生費	単県	マルチベース <sup>®</sup> ショック-保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	204,750	(22.7.14) 204,750	22.7.14 ~ 22.9.30	(22.7.12)  (免除)	22.9.10	精算	22.9.17	204,750	H18~H20 他社契約辞退 H21~H22 最低価格で落札
							随	22.9.13				
予定価格が20万円未満のもの											372,750	
目計											2,934,224	
合計											2,934,224	

1 3 工事請負費調べ

(平成22年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	工 事 名	当 初 契 約			入札等年月日 (契約保証金 納付等年月日)	請 負 人	支 出 状 況			実 地 成 年 月 日	変 更 (解 除) の 理 由 ・ 内 容	備 考
			(起工年月日) 設計額	(契約年月日) 契約額	工 期			支出 区分	年 月 日	金 額			
			変 更 契 約 (最終)			契 約 形 態							
			(変更年月日) 設計額	(契約年月日) 契約額	工 期								
家畜保健衛生費	国補	焼却棟屋根工事	( )	( )	~	( )						3月予定	
			( )	( )	~								
目 計													
合 計													

1 4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成22年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所 在 地	前 年 度 末		本 年 度 異 動 状 況						本 年 度 末		備 考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年 月 日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政 財産	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目131	146.00	6,935,000	増加	H				H	146.00	6,935,000		
					減少	H				H				
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	991.24	12,924,275	増加	H				H	991.24	12,924,275		
					減少	H				H				
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目133	563.91	34,556,771	増加	H				H	563.91	34,556,771		
					減少	H				H				
	計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	
	合 計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	

イ 建 物

(平成22年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所 在 地	前 年 度 末		本 年 度 異 動 状 況						本 年 度 末		備 考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政 財産	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	1,176.89	451,155,600	増加	H				H	1,176.89	451,155,600		
					減少	H			H					
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	78.00		増加	H			H					78.00
			減少		H			H						
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	58.00		増加	H			H					58.00
			減少		H			H						
計			1,312.89	451,155,600							1,312.89	451,155,600		
合 計			1,312.89	451,155,600							1,312.89	451,155,600		

- ウ 山 林 該当なし
- エ 動 産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- オ 物 権 該当なし
- カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成22年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	15,737 <sup>円</sup>	80,500 <sup>円</sup>	63,747 <sup>円</sup>	32,490 <sup>円</sup>	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	15,737	80,500	63,747	32,490	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

(3) 債 権 該当なし

1 5 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成22年12月31日現在)

行政・普 通財産の 区分	貸 付 (使用許可) 目 的	所 在 地	数 量 又 は 面 積	貸 付 (使用許可) 年 月 日	当初貸付 (使用許可) 年 月 日	貸 付 (使用許可) 期 間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住 所 名	備 考
							単価	本年度の 貸付(使用)料		
行政財産	冷 蔵 庫 設置場所	倉吉市清谷町 2丁目132	1.0 <sup>m<sup>2</sup></sup>	H22.4.1	H22.1.18	H22.4.1 ~ H23.3.31	昇額・年額 7,980	7,980	鳥取市末広温泉町723 (社)鳥取県畜産振興機構 会長 坂根國之	
計								7,980		
合計								7,980		

(2) 物品 該当なし

1 6 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積(m <sup>2</sup> )	貸付(使用)料(月額)(円)
行政財産	倉吉市清谷町二丁目132	10.81	1,233

イ 異動状況

(行政財産)

(平成22年12月31日現在)

月別	月初日	減		増		月末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	うち減免	うち減免	うち減免					
4月	15人	人	人	人	人	15人	0人	18,495円	/	/
5月	15					15	0	18,495		
6月	15					15	3	14,796		
7月	15					15	3	14,796		
8月	15	1	0			14	3	13,563		
9月	14					14	3	13,563		
10月	14					14	3	13,563		
11月	14					14	3	13,563		
12月	14			1	0	15	3	14,796		
1月										
2月										
3月										
合計								135,630	135,630円	0円

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ 該当なし

19 寄付物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ 該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

2 2 事業別予算執行状況調べ

目 名	家畜保健衛生費	(平成22年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
家畜伝染病予防事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜衛生対策事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜保健衛生所管理運営事業	家畜保健衛生所の円滑な運営に要する経費 ・人件費 非常勤職員報酬、共済費 ・備品購入費 必要な検査機器、図書の購入 ・委託料 設備保守点検等委託経費 ・標準事務費 旅費、光熱水費、燃料費、役務費、消耗品費等 ・その他(工事請負費、負担金)	

2 3 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成22年2月1日		前年同期		備 考	
乳用牛	88戸	5,347頭	97戸	5,381頭	△9戸	△34頭
肉用牛	136戸	10,620頭	149戸	11,215頭	△13戸	△595頭
豚	27戸	22,408頭	27戸	23,235頭	—	△827頭
採卵鶏	14戸	143,950羽	15戸	146,910羽	△1戸	△2,960羽
ブロイラー	19戸	1,290,870羽	22戸	1,252,100羽	△3戸	△38,770羽

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成22年12月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備 考
家畜伝染病予防事業	ブルセラ病	検査	4月～12月	管内一円	1,230頭	683頭	
	結核病	〃	〃	〃	2,990頭	1,845頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除78頭を含む
	ヨネ病(ELISA)	〃	〃	〃	3,752頭	2,306頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除123頭 家畜伝染病予防法第51条による立入検査30頭を含む
	牛伝染性疾病	〃	〃	〃	1,7000頭	13,177頭	
	豚伝染性疾病	〃	〃	〃	24,000頭	15,430頭	
	鶏伝染性疾病	〃	〃	〃	140,000羽	136,800羽	
	馬伝染性疾病	〃	〃	〃	5頭	5頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除5頭を含む
	めん山羊伝染性疾病	〃	〃	〃	20頭	21頭	

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考	
家畜伝染病予防事業	ひな白痢	〃	〃	〃	3,000羽	3,510羽		
	マイコプラズマ病	〃	〃	〃	3,000羽	3,510羽		
	ニューカッスル病	〃	〃	〃	4,350羽	4,430羽	種鶏3,510羽、その他920羽	
	ふそ病	〃	9月	〃	100群	45群		
	アカハネ病等	〃	6月～11月	〃	72頭	80頭		
	牛ウイルス性下痢・粘膜病	〃	4月～12月	〃	55頭	0頭		
	牛サルモネラ	〃	〃	〃	100頭	0頭		
	牛白血病	〃	〃	〃	1,250頭	412頭		
	オースキー病	〃	〃	〃	580頭	412頭		
	豚コレラ抗体	〃	〃	〃	345頭	425頭		
	豚サルモネラ症	〃	〃	〃	100頭	120頭		
	PRRS抗体	〃	〃	〃	335頭	280頭		
	鳥インフルエンザ	〃	〃	〃	590羽	240羽		
	鶏サルモネラ症	〃	〃	〃	38羽	33羽		
	ブルセラ病	証明	〃	〃	—	3件・26頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除25頭を含む	
	結核病	〃	〃	〃	—	3件・26頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除25頭を含む	
	ヨーネ病	〃	〃	〃	—	3件・26頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除25頭を含む	
	死亡牛BSE検査	検査	〃	県内	420頭	382頭		
	種畜検査(牛)			4月～12月	管内一円	—	47頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除45頭を含む
	病性鑑定	〃	〃	4月～12月	〃	—	442件	

事業別	業務内容		実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜衛生対策事業	診断予防技術向上		検査指導	4月～12月	管内一円	1戸・20頭	1戸・18頭	ヨ一ネ病
	動物用医薬品危機管理		検査指導	4月～12月	管内一円	6戸・6検体	6戸・6検体	耐性菌実態調査
			〃	〃	〃	1業者・1品目	0業者・0品目	動物医薬品品質検査～3月予定
			立入検査	〃	〃	17店舗	4店舗	～3月予定 (13店舗)
			許可更新等	〃	〃	—	許可更新3件 書換交付2件	
	地域衛生管理体制整備	地域衛生管理対策	検査指導	4月～12月	管内一円	乳牛：194検体 豚：400頭	乳牛：142検体 豚：408頭	乳房炎(SA) 豚丹毒
			会議等	〃	〃	会議開催1回以上	調整会議1回	
		とつとりの肉牛哺育育成対策	検査指導	4月～12月	管内一円	母牛：110頭 子牛：550頭	母牛：104頭 子牛：523頭	カリネラ、クリプトスポリジウム
			会議等	〃	〃	会議開催1回以上	調整会議0回	～3月予定
	流通飼料対策		検査指導	4月～12月	管内一円	1業者・1品目	1業者・1品目	肉骨粉検査
業者10戸						0戸	立入検査 ～3月予定	

2 4 家畜病性鑑定事業

(1) 家畜病性鑑定の状況調べ

(平成22年12月31日現在)

家畜別	病 性 別	受付件数	鑑定済件数	鑑定未済件数
乳用牛	異常産	2	2	
	ウイルス検査	6	5	1
	細菌検査	2	2	
	飼料検査	6	6	
	病理検査	8	8	
	急性全身性疾患	1	1	
	血液プロファイル	3	3	
	サーベイランス事業	9	6	3
	腫瘍	1	1	
	ウイルス遺伝子検査	4	4	
	突然死	1	1	
	生化学検査	2	2	
	小 計	45	41	4
肉用牛	ウイルス検査	1	1	
	神経系疾患	1	1	
	病理検査	7	7	
	急性全身性疾患	3	3	
	血液プロファイル	19	19	
	サーベイランス事業	3		3
	ウイルス抗体検査	1	1	
	分離菌の同定	1		1
	生化学検査	3	3	
	小 計	39	35	4
豚	異常産	1	1	
	消化器疾患	1	1	
	ウイルス検査	1	1	
	病理検査	4	4	
	ウイルス遺伝子検査	3	3	
	小 計	10	10	0
馬	ウイルス抗体検査	3	3	
	小 計	3	3	0
鶏	病理検査	8	8	
	急性全身性疾患	1	1	
	サーベイランス事業	24	24	
	小 計	33	33	0
合 計		130	122	8

## (2) 項目別病性鑑定実施状況調べ

(平成22年12月31日現在)

区 分		細菌	ウイルス	寄生虫	生化学	病理	環境保全	その他	計
乳用牛	件数	3	20		11	12			46
	検体数	6	557		132	12			707
肉用牛	件数	6	5		24	11			46
	検体数	12	9		162	13			196
豚	件数	6	9			6			21
	検体数	12	27			7			46
馬	件数		3						3
	検体数		176						176
羊・山羊	件数								0
	検体数								0
鶏	件数		31			9			40
	検体数		1,693			57			1,750
その他	件数								0
	検体数								0
計	件数	15	68	0	35	38	0	0	156
	検体数	30	2,462	0	294	89	0	0	2,875

## (3) BSE検査実績

死亡牛検査 382頭 (平成22年12月31日現在)

## 2.5 意見、要望等

## (1) 業務に関する意見・要望等

なし

## (2) 監査委員事務局に対する要望等

なし